

# 秋ダイヤ改正(9月23日)について！

## 乗客の安全とサービスを守ろう！

秋ダイヤ改正がスタートしました。本部は、今回のダイヤ改正の問題点として、基地の統廃合（佐世保運輸センター）、長崎・熊本・鹿児島乗務センターの車掌配置の解消、3・4・6両ワンマン運転の拡大等の問題について会社との交渉と九州運輸局へも要請行動を行って来ました。しかし会社の一方実施により今回のダイヤ改正を迎えました。

### ◎ いきなり本番のダイヤ改正（ワンマン運転）！

ホームドアの設置や停目の統一を訴えて来ましたが、十分なワンマン教育も行われずに運転士は車側カメラから映し出されるモニターで確認しホームの乗降を確認しなければなりません。6両ワンマンでは、数センチ幅でしか確認できません。車掌乗務で確認していたホーム進入・進出時の状態確認も出来ません。これでは、乗客の「安全」が守れません。

### ◎ 更なる効率化を許さない！

今回のダイヤ改正で150名以上の効率化が進みました。新聞報道では10億円の経費削減に繋がったと報道されています。車掌解消職場では退職するまで車掌職を考えていた車掌は36名退職を余儀なくされました。会社はBPRの経費削減に続き未来鉄道での効率化を予定しています。今後も委託駅や無人駅の拡大や沿線での雑草や倒木や倒竹の現象は効率化の結果であります。乗客の「安全とサービス」を守ろう。

### ◎ ダイヤ改正問題点の集約について！

周知の通り、今回のダイヤ改正は多くの問題点があります。基地の統廃合における異常時対応、車掌配置解消に伴うサービス面やワンマン拡大での不備や危険個所（乗車率や乗降が確認できない駅）、沿線での危険個所（雑草でキ口程や倒竹で信号が見えない等）、食事時間や睡眠時間、行路上の問題点をあげよう。本部は、問題点の解消を行います。